

日本語学

高崎 みどり / TAKASAKI, Midori

理事・副学長

- 専門分野 日本語学
- キーワード 日本語学 (現代語の文章・文体)

連絡先

研究内容

■概要 (背景・目的・内容)

あらゆる日本語表現が研究対象です。たとえば、村上春樹、新聞記事、ケータイメール、ブログ、ネット広告、日常会話から、「春はあけぼの」、狂言「附子」(「ここからはじまる文章・談話」の目次から)まで、これらを材料に、文体や表現、性差等の多種多様な角度から研究しています。

例1 大正期の外来語受容—100年前の“グローバル化”という観点から—(平成25・26・27年度科学研究費補助金 研究代表者)
例2 食べ物の味覚評価語の日英比較研究(平成23年度比較日本学教育研究センタープロジェクトにおいて、ミネソタ大学教員との共同研究)

例3 統計的分析方法を活かした言語研究(国立国語研究所:平成23年度萌芽・発掘型共同研究プロジェクト「テキストにおける語彙の分布と文章構造」)

例4 職場の女性のことば:企業における女性管理職の言語行動(リーダー養成研究の一環)

■応用・将来展望

- ・ことばとジェンダー
- ・日本語のテキスト分析
- ・大正時代の外来語の研究
- ・オノマトベの共同研究

■活動実績

- ・「文体から読む文学作品」(放送大学面接授業) 2015
- ・「大正期の外来語受容—100年前の“グローバル化”という観点から—」(平成25・26・27年度科学研究費補助金 研究代表者)
- ・「古典作品における文章・談話研究」(平成22・23・24年度科学研究費補助金 研究代表者)
- ・編集委員として、三省堂現代新国語辞典(第4版)を編集・出版した

主要研究成果

- ・高崎みどり「食に関する日本語テキスト中におけるオノマトベの振る舞いについて」『ヨーロッパ日本語教育 19 第18回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム 報告・発表論文集』ヨーロッパ日本語教師学会、2015
- ・研究代表者 高崎みどり「古典文学作品におけるテキスト・談話研究」科学研究費補助金(基盤研究C)研究成果報告書、科研費報告書、共著、2013.06
- ・高崎みどり「文章中の語彙の機能について—テキスト構成機能—という観点から」『テキストにおける語彙の分布と文章構造成果報告書』2013.03
- ・高崎みどり「“美味”を意味する語の使用と性差—「おいしい」を中心に—」『お茶の水女子大学人文科学研究』2012.03
- ・高崎みどり「文章・文体論と語彙」石井正彦・斎藤倫明『これからの語彙論』つひじ書房、2011.12
- ・高崎みどり「広報誌の作り方」『日本語 文章・文体・表現事典』朝倉書店、2011.06
- ・市川孝・見坊豪紀・遠藤織枝・高崎みどり・小野正広・飯間浩明、『現代新国語辞典』三省堂、2011.02

